

平成 24 年度
新しい共通教育について語り合う会
「フクトーク」
報告書

主催
福山大学 大学教育センター
(全学共通教育部門)

平成 25 年 3 月

●趣旨

学生が国際社会の中で社会人としてのスキルを身に付け、教養を深めて高い見識を持ち、豊かな人間性を培うために共通教育の役割は大きい。そのため、共通教育の今後の充実が望まれる。そこで、魅力的な授業を一緒に考え企画することを学生に呼びかけ、学習の主体者である学生の参加による企画提案型の意見交換会を開催する。

これを通じて、共通教育での学び方の工夫、学びたい科目やテーマ、学修支援のポイントをはじめ学修成果が期待できる様々な工夫やアイデアなど、魅力的な授業方法や新しい学びの創出につなげ、共通教育の充実に資する。

●日 時： 平成 25 年 2 月 15 日（金），13 時～14 時 40 分

●場 所： 大学会館 3F, ICT 教室「CLAFT」

●テーマ： ①外国語科目について
②教養科目について

●参加学生

経済学部 10 名、人間文化学部 6 名、工学部 7 名、生命工学部 7 名、薬学部 6 名
計 36 名（うち、学部学科選出 34 名、公募 2 名）

テーマ①：10 名（5 名メンバー2 グループ）

テーマ②：26 名（6 名メンバー2 グループ、7 名メンバー2 グループ）

計 6 グループ

●プログラム

12:30 受付開始

13:00 開会の挨拶（大学教育センター長）

13:03 全体説明

SGD について（プロダクト：『新しい授業の提案』）

13:10 SGD 開始

他己紹介，3 役（司会進行、記録係、発表）の決定

14:00 まとめと発表の準備

14:10 グループ発表

14:30 総評と閉会の挨拶（大学教育センター長）

アンケート調査

解散

●スタッフ

小野准教授，坂口教授，地主准教授，鶴崎准教授，日暮助手（五十音順）

●要旨

(全学共通教育部門長 坂口勝次)

大学教育センターでは、初めての試みとして、共通教育について学生同士が話し合う場を設け、学生たち自身が新しい授業を企画提案することを計画し実施した。全学共通教育課程の中から、外国語科目と教養科目の二つについてテーマを絞り、参加学生は希望するテーマ毎にグループに分かれた。参加学生の募集方法は、学内公募と学部学科からの選出の2段階になった。

会場として、平成24年度文部科学省「私立大学教育研究活性化設備整備事業」によって整備された大学会館 ICT 教室「CLAFT」を利用した。

プログラムについては、大学教育センター長による開会の趣旨説明を含む挨拶のあと、司会による全体説明として SGD の意味、プロダクト、ルール、役割の説明を行った。続いて SGD に入る前に、アイスブレイクとして、グループ内でペアを組んで相互に自己の情報提供を行い、グループの前でペアの相手が自分を紹介するという「他己紹介」の時間を設けた。そして SGD を行うための司会進行と記録係、加えて最後にプレゼンテーションを行う発表者をグループ内で決めたあと SGD を開始した。SGD の記録として、グループ毎に3面式のホワイトボードを利用した。SGD の序盤で現行の授業などに対する問題点の抽出作業だけが目立ったため、新しい授業の提案という趣旨と制限時間の関係から、議論の指針を全体に伝えて議論の軌道修正を早期に行った。これによって、提案意見が中心の SGD が進み、各グループから科目名、授業内容、提案のポイントなどがホワイトボードにまとめられた。そして、SGD の終了10分前にプロダクトのまとめ作業と発表の準備を行った。グループ発表では、各グループの発表者がプロダクトとして「新しい授業」の科目名、授業内容、提案のポイントについて説明があった。プロダクトとしての科目名を以下に示す。

- ①英語 — 意欲を引き出す授業 —
- ②日中コミュニケーション
- ③就活トーク
- ④フク☆ナビ ～大人の階段を登ろう！～
- ⑤社会教養
- ⑥SGD

①および②については外国語科目、それ以外は教養科目をテーマとしたものであり、大変ユニークな科目や授業内容がプロダクトとして出てきた。また、教養科目については、科目名は異なるが社会に出るための具体的な準備として位置づけた授業内容の提案が目立ち、学生の関心事が浮き彫りになったようである。大学教育センター長による総評と閉会の挨拶では、「SGD」という科目など特筆すべき科目が学生から提案されていることや大学としてこれらプロダクトを真摯に受け止めていく旨が述べられた。

アンケート調査の結果から、参加学生のほとんどが「フクトーク」での話し合いが有意義であったこと、SGD への参加も良好であったこと、グループ人数が適切であったこと、提案された科目の中で実現を望んでいる科目があること、学生の意見を取り入れた新しい授業を生み出していく仕組みを求めていること、次回参加への可能性があること、に多くの学生が回答している。この他、他学部の学生と交流ができたことを評価する学生もいた。今後の課題としては、広報とそれに伴う公募方法、SGD の時間配分については改善する必要がある。

最後に、「フクトーク」の実施にご尽力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

●プロダクト『新しい授業の提案』 No.1

テーマ① : 外国語科目について

新しい科目名 : 「英語」 — 意欲を引き出す授業 —

授業中の居心地

クラス分け

英語のレベルの差が激しい

英会話 1クラス

Lv. に合う授業

授業環境がよくない。

英語 Problem

1年 → 2年 のクラス分け

英 英会話 必要?

読書、話

何のための勉強か?

英会話 必要か?

基本の定着、再確認の機会

普通科以外

読み書き

I・II

1年・授業数多い

話せる英語がほしい

伝わる

独学、教わるの違い

使える授業の展開

最低限

意欲を引き出す授業

英語

- ・単位をとるための授業は辞める。 → 将来使えるような授業展開
- ・学部毎の特色をもった授業 → ① 英学 → 読み書き重視
工学 → Listening
- ・自分のレベルを知るために、月1回のテストをする。

↓

自分のレベルを高める。分析

統一授業必要ない。

内容 時間

1~4年 全て英語?

工学は英語の文献の内容の把握。

※ みんなの意識が重要。

意欲、やる気

第2でも教えられるものか限定される。

点数とりたり、単位をとるための授業ではX。

引き出し方

メモ (左)

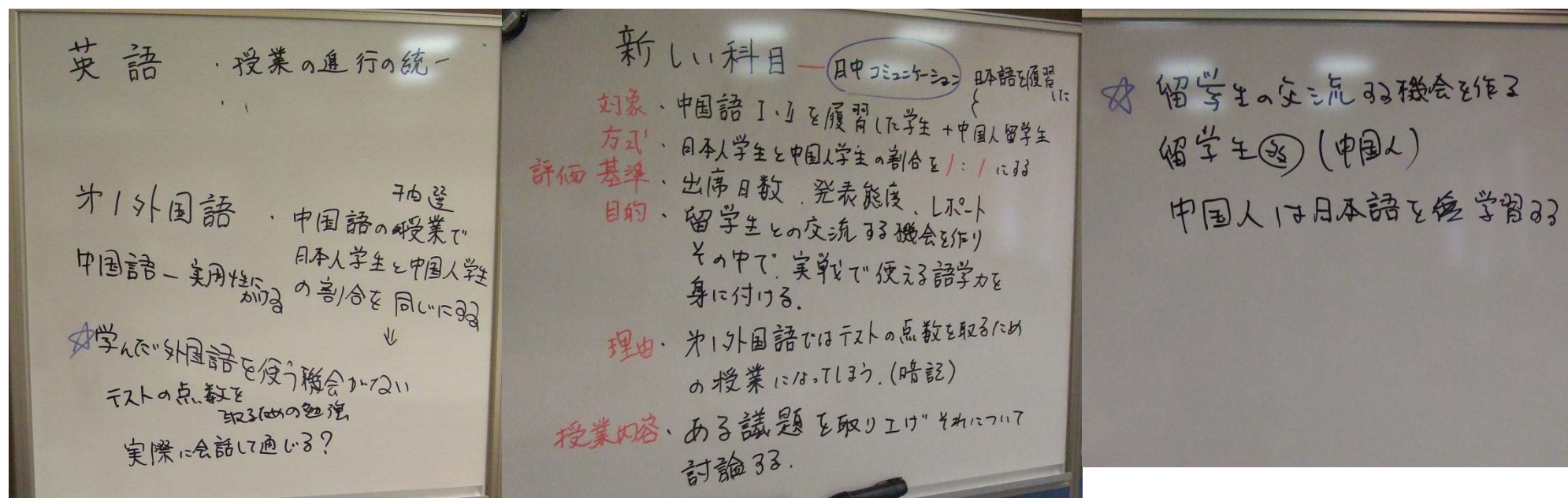
まとめ

メモ (右)

●プロダクト『新しい授業の提案』 No.2

テーマ① : 外国語科目について

新しい科目名 : 「日中コミュニケーション」



メモ (左)

まとめ

メモ (右)

●プロダクト『新しい授業の提案』 No.3

テーマ② : 教養科目について
新しい科目名 : 「就活トーク」

・授業内容に追加
(情報処理 word+excel) → powerpoint
(抽選漏れ有)

・正しい日本語の使い方
話し方等 (敬語) (名前募集中)

・マナー
(ex: タクシーの乗り方、上座下座...etc.)

・秘書検
手紙

・英語や社会進出に向けての授業
やわらか

↓ 就職支援!! ① ② (各回) 不定期講義
単位あげろ!

メモ (左)

就活トーク(仮)

授業内容

前期・後期に分け、正しい日本語の使い方、社会に出るためのマナーアップを図る。(タクシーの乗り方、エレベーターの乗り方、上座・下座...etc.) クイズ形式で授業が進む 学生参加型。

生きる力を育む。

まとめ

・オリエンテーションで基礎の基礎を学ぶ
(いきなり専門的な内容に入ることが多いため)
ex) 世界史 → ヨーロッパの歴史(背景)を教える

名前

・就活トーク(仮)

メモ (右)

●プロダクト『新しい授業の提案』 No.4

テーマ② : 教養科目について

新しい科目名 : 「フク☆ナビ」 ~大人の階段を登ろう!~

〈現状〉

- 授業がバカに苦しい
- 科目がざっくりしすぎ
- 右前だけで授業内容がわかりにく
- 必須授業との関係で選択肢が限られる
- 〈どんな授業を受けたい?〉
- 卒業後・就活中に役立つ
- 企業の概要を教えてください
- 韓国語みたいに旅行でも役立つ
- 授業単位(増)
- 座学だけじゃない! → 教室の外に出よう! = 実技系
- 大学でしか受けられない授業 ← 他の学部で授業とか!

思ってたのと違った!!

将来役立つ授業

フク☆ナビ

~大人の階段を登ろう!~

〈内容〉 就活対策

〈スケジュール〉

前半: 現在の就活事情
(座学中心) 就活するのに必要なこと
業界の特色 → 外部講師を呼び
↑ 例: 企業の人とか...

後半: 面接対策
(実技中心) 電話対応
履歴書の書き方
SGD

〈内容〉
就活対策

〈スケジュール〉

前半: 現在の就活事情
(座学) 就活するのに必要なことの講義
業界の特色

後半: 面接対策
(実技) 電話対応
履歴書の書き方
SGD

たまたま外部講師の人呼ぶ、
例、企業の人とか...

〈授業名〉
フク☆ナビ
~大人の階段を登ろう~

メモ (左)

まとめ

メモ (右)

●プロダクト『新しい授業の提案』 No.5

テーマ② : 教養科目について
新しい科目名 : 「社会教養」

・今取っている授業
 { 単位数多い
 持ち込みある教科

・取りたい授業がとれない
 ・時間が重なる

新しい科目
・社会教養
(内容)
 ・社会人になって関わる制度や
 社会人になって必要なマナーを学ぶ
 ・実践授業
 ・目標に向かって頑張る(例:秘書検)
 ・みんなが受講できる時間帯(学部混合)

特殊教養科目
○他学部の授業を受けたい
 ・他学科の先生の授業 — 基礎(雑学的なもの)
 外へ発表する機会 (学部を混ぜて)
 ・社会人に役立つ勉強 — 教養科目
 ○マナー講座 (みんな受講)
 社会教養 (やるやつ)
 ・話し合いの場を増やす
 ・検定前の対策

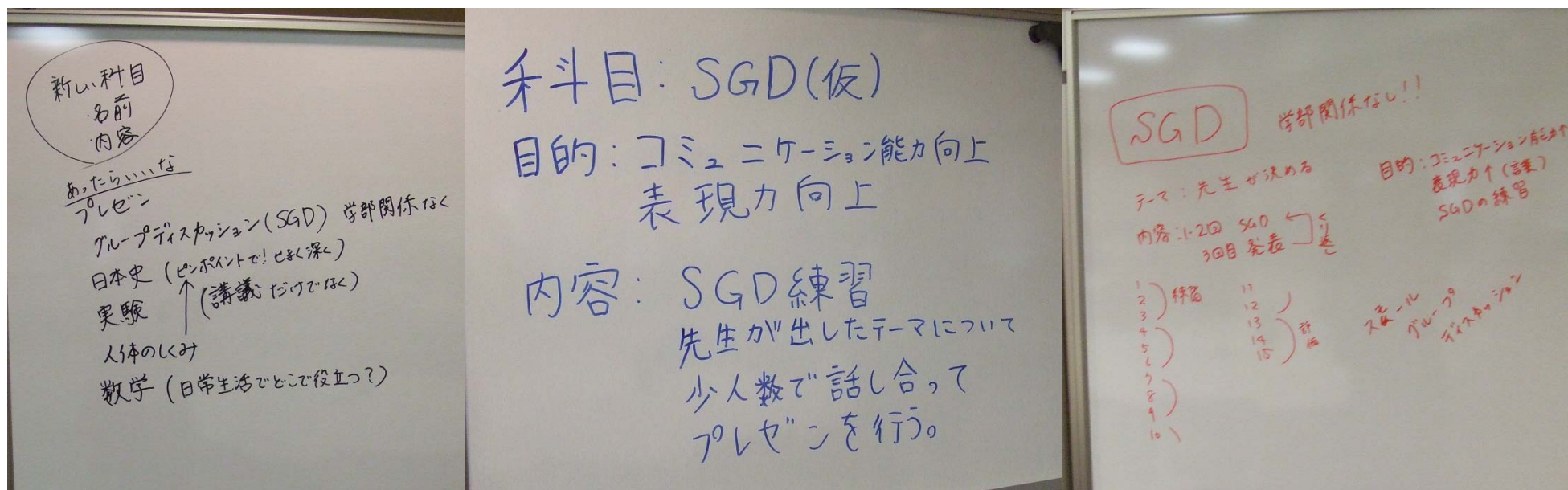
メモ (左)

まとめ

メモ (右)

●プロダクト『新しい授業の提案』 No.6

テーマ② : 教養科目について
新しい科目名 : 「SGD」



メモ (左)

まとめ

メモ (右)



開会の挨拶



全体説明



SGD（スモール・グループ・ディスカッション）



成果発表

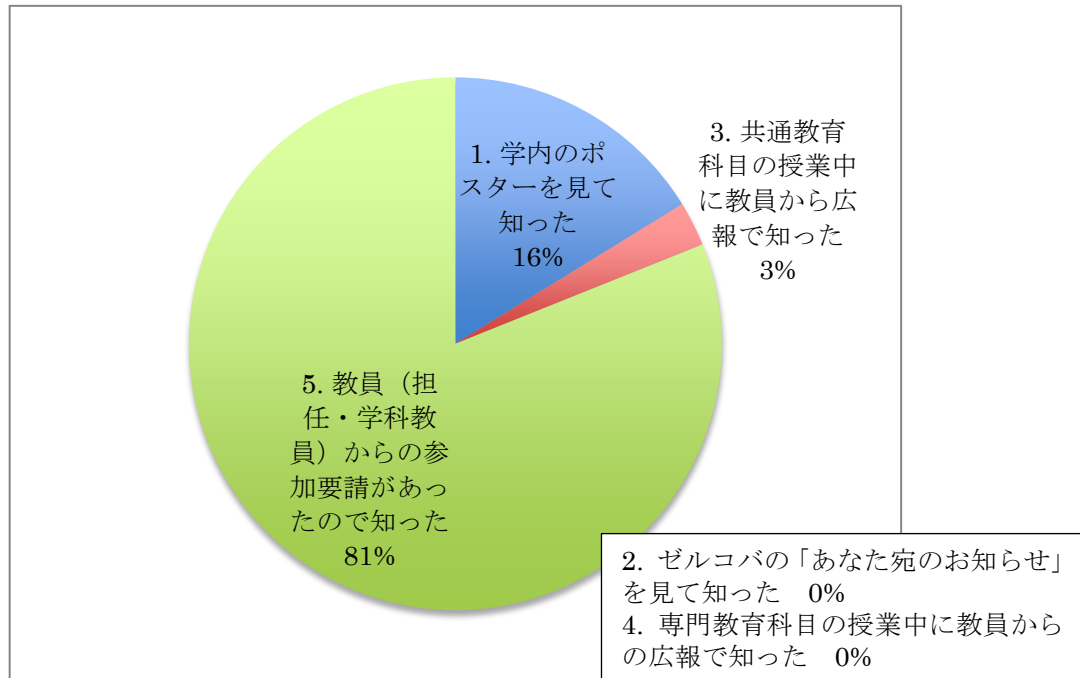


総評・閉会の挨拶

フクトーク参加者 アンケート集計結果

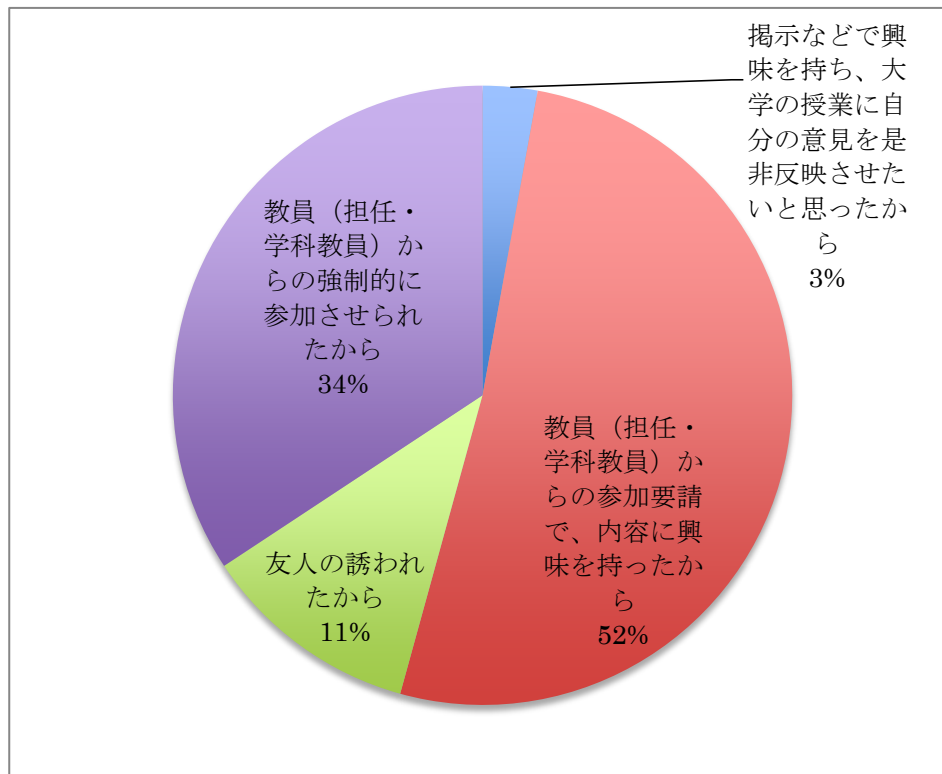
フクトーク学生参加者数 36 名 うち、アンケート記入者数 35 名

① フクトークをどのようにして知りましたか。

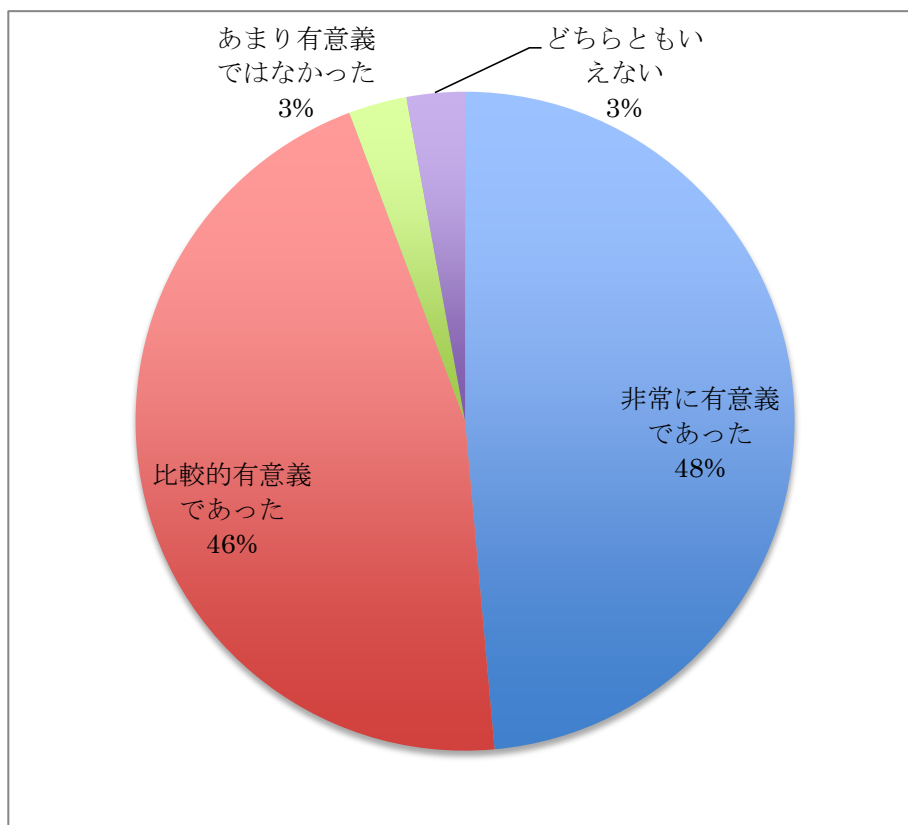


※35 名中 2 名が 1.と 5.の 2つを選択

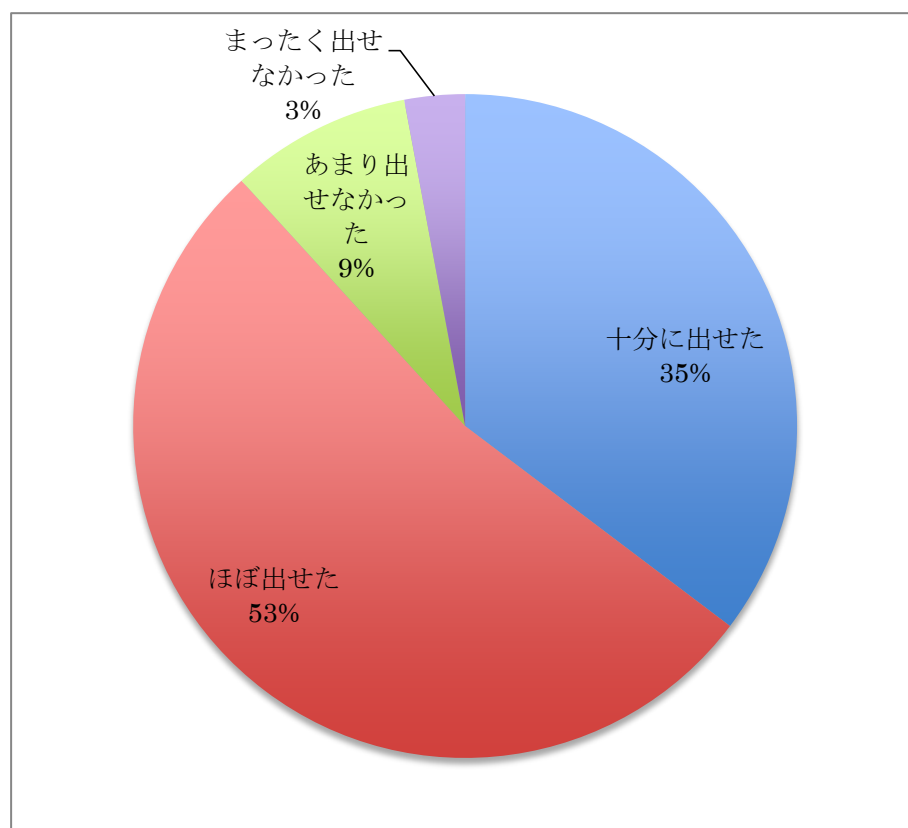
② フクトークへの参加の経緯を教えてください。



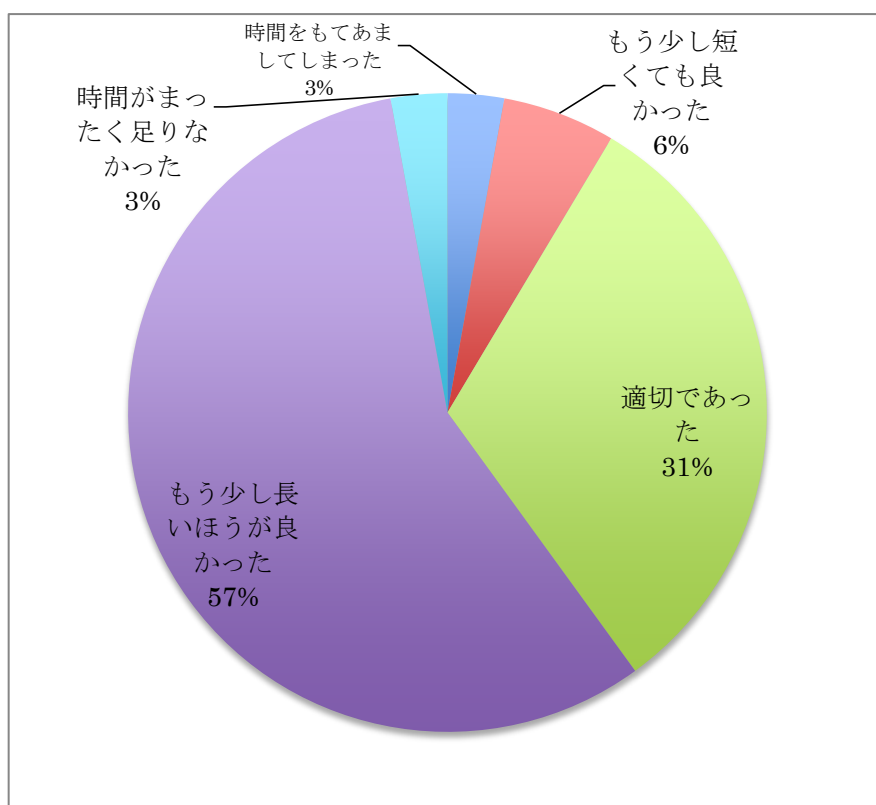
③ あなたにとって、フクトークでの話し合いは有意義でしたか。



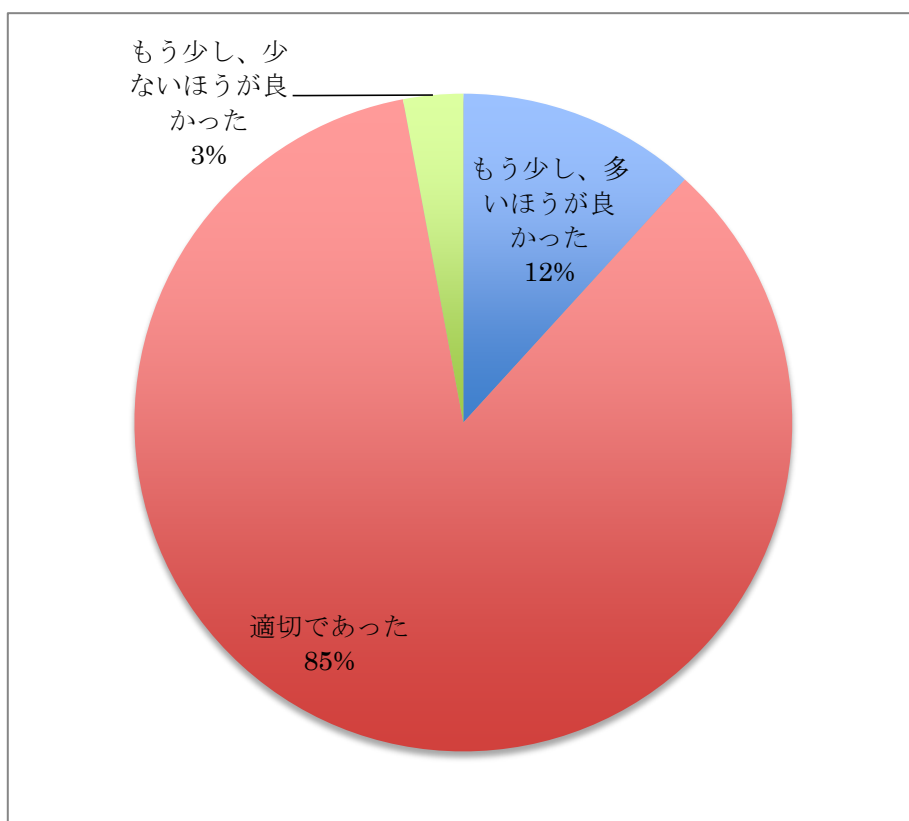
④ グループディスカッションでは、自分の意見を十分に出せましたか。



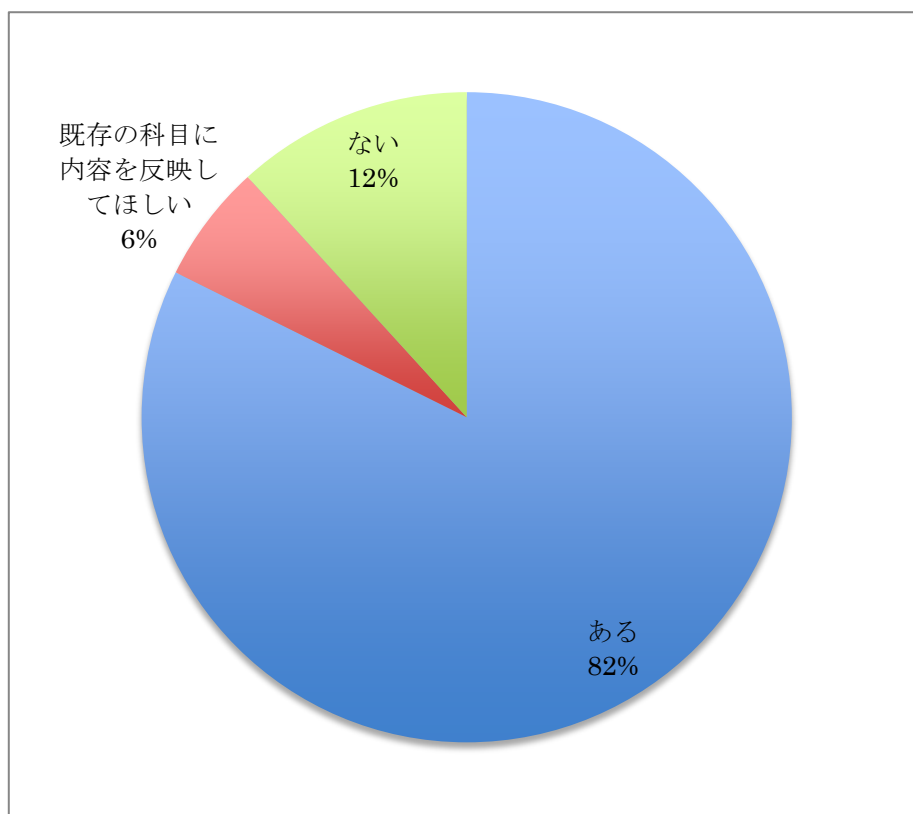
⑤ ディスカッションの時間は適切であったと思いますか。



⑥ グループディスカッションの1グループの人数は適切でしたか。



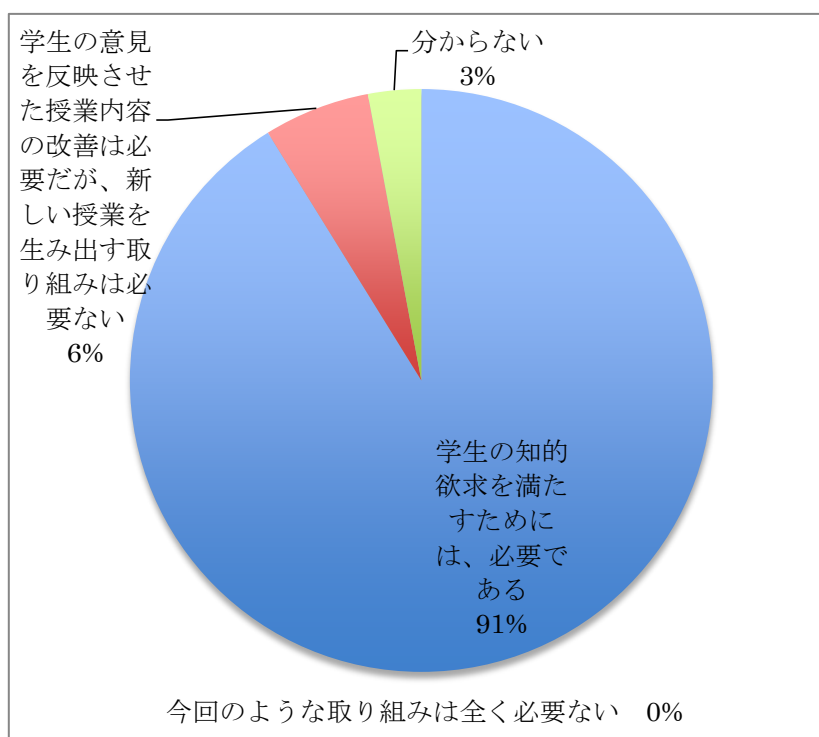
⑦ 今回のフクトークで提案された科目の中では是非実現してほしい科目はありますか。



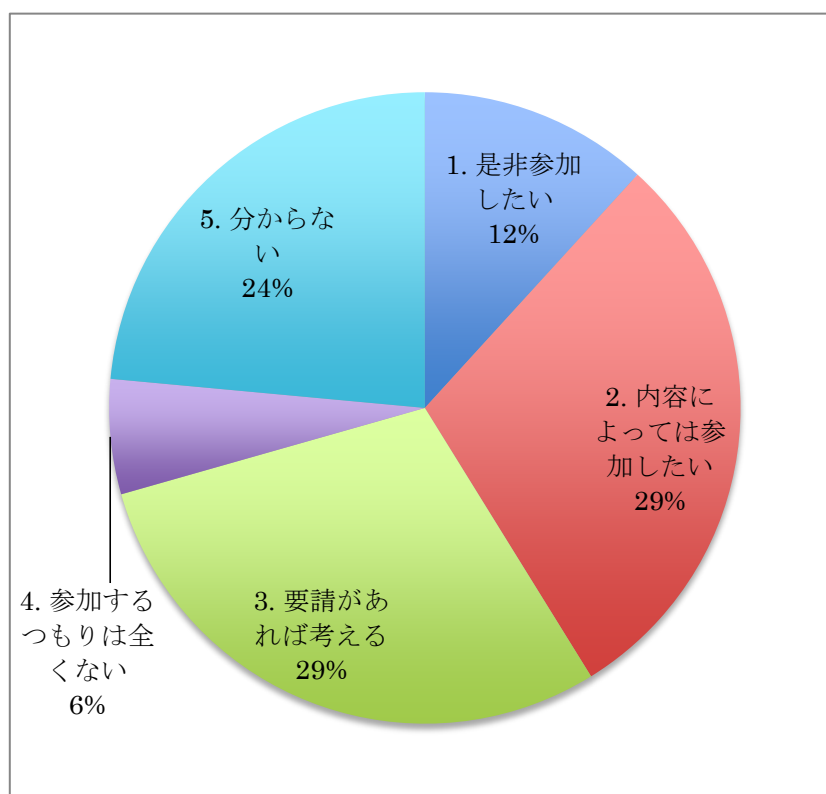
「ある」と答えた学生の科目名など	人数	備 考
フク☆ナビ ～大人の階段登る～	8	
SGD	7	
就活トーク	5	
社会教養	3	分類として新しく専門分野の基礎を浅く広く学べる「特殊教養科目」があればいいと思います（副専攻とかは別で）
就活用のもの	1	
就活対策・日中コミュニケーション	1	
就活やマナーUP の授業	1	
全部・全部のグループのを少しずつでも	1	
未記入	1	
フクトーク	1	

「既存の科目に内容を反映させてほしい」の内容など	人数
英語の時間増	1
SGD を用いた授業	1

⑧ 今回、共通教育科目の外国語教育と教養教育について議論をしましたが、学生の意見を取り入れた新しい授業を生み出していく取り組みは、今後も必要と思いますか。



⑨ 次回のフクトークに参加したいと思いますか。



※ 1.～3.に○をつけた方は、是非、別紙の連絡票に氏名等を記入して提出をお願いします。

連絡票に氏名等を記入したのは、1～3の対象者24名のうち、**21名**

⑩ フクトークに参加して、思ったこと、考えたこと、改善した方がよいことなど自由に記載してください。

- フクトークのように他学科の人と話し合う場をつくることは良いと思った
- 他学部の人たちと話し合うことによっていろんな考えを知ることができたのでとても良かった。
- 思ったより楽しかった。議論するには時間が短いと思う。
- このような場を設けることは良いと思いました。もっと速くこんな機会があってほしかったです。
- 知らない学生と話す機会があって良かった
- 他学科の人と交流が出来て良かった。ホワイトボードはパソコン（パワーポイントなど）などで良かったのではないかと思った。
- 楽しかった
- 設備の不備はいただけないと思う
- 中学語をもっと充実させてほしい
- キャリアデザインでもしましたが、1回はやっておいた方がよいと思います。楽しくできればよいのでは、少し時間多く。
- 最初は緊張しましたが、見ず知らずの学生の皆さんと意見を交換するのは貴重な経験だと感じました。とまどいもありましたが、非常に有意義な時間だったと思います。

フクトーク参加者 連絡票

アンケートⅠの⑨で1～3と答えた皆様には、次回、フクトークが開催される時には、優先的に連絡させていただきます。以下に、学生番号と氏名を記入し、提出してください。連絡にはゼルコバを利用しますので、連絡方法の欄は記入していただかなくても結構ですが、電話あるいはメールでの連絡を希望される場合は、ご記入ください。もちろん、個人情報の管理は厳重に行ないます。

学生番号：

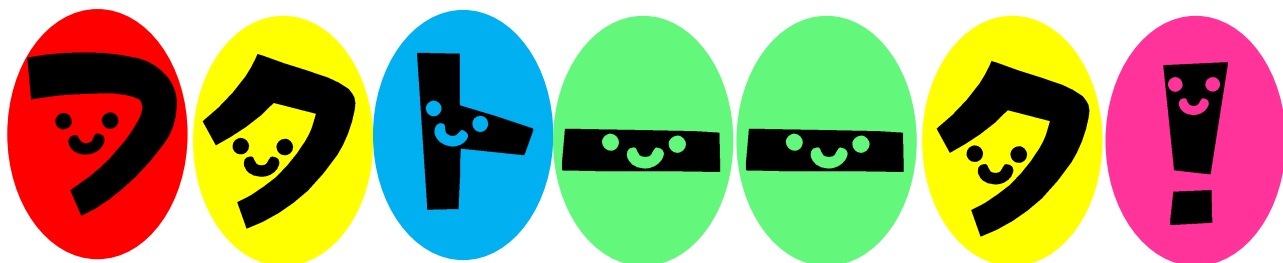
氏 名：

連絡方法（未記入でもかまいません）：

学生

参加者大募集

新しい共通教育について語り合う会



～新しい授業をみんなで作ろう～

福山大学の共通教育について
アイデアを募集します
テーマは下記の2つです

教養科目
について

外国語科目
について

あんな授業が
あったらいい
なあ…



日時：2月15日（金）13：00～14：30
場所：大学会館アクティブ・ラーニング新教室

【申し込み先】教務課（申込用紙を用意しています）

【申込締切日】1月30日（水）17：00

【問い合わせ】学習支援・相談室（1号館3階01322）

【主催】大学教育センター

フクトーク

～新しい授業をみんなで作ろう～

共通教育の充実を図るため、魅力的な授業を学生の皆さんと一緒に考え、語り合う会「フクトーク」を企画しました。

共通教育での学び方の工夫、学びたい科目やテーマ、学修支援のポイントをはじめ、学修成果が期待できる様々な工夫やアイデアなど、みんなで語り合い、魅力的な授業方法や新しい学びの創出につなげていきたいと思います。

- ・日 時： 平成 25 年 2 月 15 日（金）13：00～14：30（90 分間）
- ・場 所： 大学会館 3F アクティブ・ラーニング新教室
- ・テーマ： ①外国語教育（科目）について
②教養教育（科目）について
- ・参加資格： 学年・学科・専攻は問いません。
- ・申込方法： 下記の申込書に必要事項を記入し、切り離して、参加申込書を
教務課窓口付近の指定 **Mail Box** に入れてください。
- ・申込〆切： 平成 25 年 1 月 30 日（水）
- ・問い合わせ先： 大学教育センター
学習支援・相談室（1 号館 3 階 01322 教室）
- ・特記事項： 応募者多数の場合は抽選になりますので、ご了承ください。
参加結果は、後日、ゼルコバにて個別に連絡します。

—————<キリトリ>—————

新しい共通教育について語り合う会「フクトーク」参加申込書

学生番号			氏 名		
参加希望テーマ（どちらかに○）		①外国語教育（科目）	②教養教育（科目）		
連絡先（できれば）	電話番号	—	—		
ご意見（あれば）					

大学教育センター
運営委員会委員 各位

大学教育センター
センター長 松浦史登
共通教育部門長 坂口勝次

大学教育センター主催
共通教育についての語り合う会「フクトーク」 参加学生 選出のお願い

共通教育の充実を図るため、魅力的な授業を学生の皆さんが考え語り合う会「フクトーク」を下記のように実施します。

共通教育での学び方の工夫、学びたい科目やテーマ、学修支援のポイントをはじめ、学修成果が期待できる様々な工夫やアイデアなど、みんなで話し合い、魅力的な授業方法や新しい学びの創出につなげていきたいと思ひます。

つきましては、各委員が所属する学部学科から参加学生を選出していただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

- ・ 日 時： 平成 25 年 2 月 15 日（金），13 時～14 時 30 分（3 時限，90 分）
- ・ 場 所： 大学会館 3F, ICT 教室「CLAFT」
- ・ テーマ： ①外国語科目について
②教養科目について
- ・ 参加資格： 学年・専攻は問ひません。
- ・ 選出内訳： 各学科（薬学部を除く）2 名，薬学部 6 名 （計 32 名）
経済学部については学部全体で 6 名でも可
- ・ 報告内容： 学生番号，氏名のリスト
※参加学生には，事前に 2 つのテーマから一つ選択して参加するように伝えてください。
- ・ 報告先： 共通教育部門長（坂口）まで
sakaguch@fume.fukuyama-u.ac.jp
- ・ 報告〆切： 平成 25 年 2 月 8 日（金）（厳守でお願いひします）

以上